

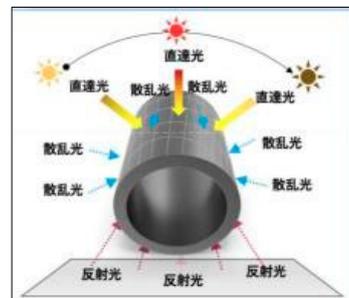
## トピックス

### 北九州市 武内市長との会見について

2023年2月20日に北九州市長に就任された武内市長と、株式会社フジコーの萩尾社長が、2度にわたり会見を行いました。

#### ■ 1回目（2023年5月24日 フジコー事業概要と「円筒形発電デバイス」等ご説明）

萩尾社長を含め3名で市庁舎を訪問し、武内市長、市産業経済局の池永局長、森永部長と会見を行わせて頂きました。事業概要のご説明の後、現在、当社が事業化に取り組んでいる「小型円筒形発電デバイス」の実物サンプルをお持ちして、説明を行いました。これは、従来の平板型と異なる特長・メリットがあり、市の環境局や企画調整局のご協力を得て、実証実験の準備を進めていること等をご説明し、今後のご支援をお願い致しました。



#### ■ 2回目（2023年10月30日 宇宙関係の取り組み等ご説明）

前回5月の面談で、武内市長が宇宙事業に非常に興味をお持ちであり、北九州市の成長に向けたキーワードとして、市への宇宙産業の集積推進を計画されていることから、今回は、当社の宇宙関係の取り組み内容をご説明させて頂きました。

##### ① 国際宇宙ステーション（ISS）内のマウス飼育ケージへの光触媒加工（実現済）

光触媒の有機物分解の機能を活かしたもので、現在も依頼の都度、製作納入させて頂いています。

##### ② 月周回有人拠点（Gateway）搭載予定機器への光触媒加工（実現見込み）

光触媒のもう一つの大きな特性である「超親水性」を活かしたものです。

##### ③ 宇宙関連機器に適用できる異種材料接合（研究開発テーマ）

金属と炭素繊維の接合について、現在の機械式よりも強力に接合できる方法を探求するものです。

今回、市長の「北九州市への宇宙産業の集積」に関する当社への期待も感じましたし、私共としても、その一翼を担うべく、研究開発に取り組んでまいりたいと思います。



江藤 武（光触媒事業企画部）